

教科	理科	科目	地学基礎	担当	
履修学年	2年	単位数	2	履修区分	普通科文系(必修)
教科書	地学基礎(実教)				
副教材等	地学基礎・演習ノート(実教)				

1 学習目標

地学や地学現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	地学や地学現象について関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、地学の共通性と多様性を意識するなど科学的態度を身につけている。
b	思考・判断・表現	地学や地学現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
c	観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。
d	知識・理解	地学や地学現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前 期	4	地球の科学	1章 地球の構成と運動	1節 地球の形と大きさ	○		○		a: 地球の形や大きさをイメージし、理解しようとしているか。地球の層構造について知ろうとしているか。 b: 地球の地殻・マントル・核の違いを理解し、その分別の仕方、理由を説明できるか。 c: 地球の2点間における中心角度と距離より、地球のおおよその大きさを求めることができるか。 d: 地球の形から生じる、緯度の差による地学現象の相違点を説明できるか。地球の内部の構成元素・密度を理解しているか。	審査・授業・課題	
	6			2節 地球内部の構成		○					
	前期中間審査										
	6	5	2章 地球の変遷	1節 地層と化石	3節 火山と地震	○	○			a: 世界各地の火山に興味があり、その違いについて考えようとしているか。 b: プレートの境界の違いを理解し、その違いを説明できるか。また、それをプレートテクトニクスによって説明できるか。 c: 火山・地震の世界分布から、プレート境界の位置を推測することができるか。 d: 世界の主なプレート境界域、火山などを地学的なアプローチから理解しているか。	審査・授業・課題
	9				4節 プレートの運動		○	○			
前期末審査											
後 期	9	5	3章 大気と海洋	2節 古生物の変遷と地球環境			○	○	a: 古生物や地球の歴史に関心があるか。 b: 地球の歴史をマクロ的にとらえ、その変遷を理解しているか。 c: 生物の進化と年代の分け方との関連性を理解し、年表を作成することができるか。 d: 示準化石を使って、古生代・中生代・新生代の年代区分ができるか。また、示準化石を使って、生息時の自然環境を推測できるか。	審査・授業・課題	
	11			1節 大気の構造と運動	○		○				
			2節 大気の大循環		○	○			a: 日頃から気象に関わる話題に触れ、気象を科学的検証から考えているか。 b: 大気の運動を、気体の圧力・温度・体積などの物理的要因からとらえているか。また、そこから自然現象を科学的に説明できるか。 c: 世界規模での大気・海水の循環をとらえ、それが各地の気候にどのような影響を与えているか考察することができるか。 d: 気圧配置図や雲の様相などから、天候の様子・変化をまとめることができるか。		
後期中間審査											

後 期	11	宇宙の科学	4章 太陽系と宇宙	1節 太陽系の中の地球 2節 太陽とその進化 3節 宇宙のすがた	○		○	○	<p>a : 地球をはじめとする惑星や、太陽などの恒星に興味があるか。天体や宇宙の様子に関する事象を知っているか。</p> <p>b : 宇宙で起こる様々な事象から、宇宙だけでなく身近なところでも成り立つ法則を見いだすことができるか。</p> <p>c : 天体を観測し、その運動の様子を理解することができるか。また、恒星の誕生から終末までを系列的に考察できるか。</p> <p>d : 宇宙にまつわる法則・公式を活用し、数学的に宇宙の営みを理解できるか。</p>	5 3 後期末考査
		環境の科学	5章 地球の環境	1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	○	○		○	<p>a : 日本列島がつくる自然の特徴を正確に捉えることができるか。</p> <p>b : 四季を中心に、気候の違いを科学的側面から考察できるか。</p> <p>c : 世界規模の異常気象と気候変動を、人間の営みと併せて考えることができるか。</p> <p>d : 自然災害の要因と対策について理解し、それを実践する心構えがあるか。</p>	

#### 4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	25	25	25	25
b	25	25	25	25
c	25	25	25	25
d	25	25	25	25
計	100	100	100	100

#### 5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- (1)公式・定義・単位等、基本的知識を完全にする。
- (2)復習に重点を置き、分からない部分を放置せず、先生に質問するなどして理解に努める。
- (3)解答をただ写すだけの課題提出にならないよう、自分の考えで問題を解く習慣をつける。

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。